

令和元年度 重点プロジェクト検討部会のテーマ

①次世代文化体験プロジェクトの研究

本市では、市内や近隣市に立地する大学と包括連携協定を締結しており、また、市内に重要な拠点を置く企業も多く、県内における商業、産業の中心地になっている。

こうしたまちの資源を生かすため、文化団体はもちろんのこと、大学、企業とも連携しながら、文化のまちづくりにオール草津で取り組むことが重要。

草津市文化振興計画策定以後、市が関係する子どもや若者に対する文化事業が充実してきているため、次世代文化体験プロジェクトでは、民間の自主的な文化活動を促進するための情報発信、連携等の基盤整備について研究する。

(参考)市が関係する子どもを対象とした文化事業

□草津市

学校アート化計画(新規)／草津宿みちくさラボ(新規)／アートフェスタくさつ(拡大)／
コーディネーターを活用したアーティスト派遣事業／子育て支援コンサート／
博学連携事業／草津市青少年俳句大会 等

□指定管理者

心の劇場(拡大)／市民創作ミュージカル／クリア座／ブックトークコンサート 等

□事業協力

ピワアートコレクション(新規)

□後援

親子のための麗しコンサート 等

② 13万人の文化プロジェクトの準備

□重点プロジェクトプレ事業委託業務(93千円)

文化振興計画に位置付ける重点プロジェクト「13万人の文化プロジェクト」について、R2年度からの本格実施を前に、2つのプログラムについてプレ事業を行い有効性の検証や問題点の把握を行う。

- ・(仮)おでかけシアタープログラム(1回)
- ・(仮)バリアフリーな鑑賞会 リラックスパフォーマンス(1回)